

第7回遠野市史編さん委員会 会議録

日 時	平成30年5月29日（火）14：00～15：30	
場 所	遠野市立図書館 視聴覚ホール	
出席委員数	10人中7人出席	
出席委員	委員長 大橋 進 委員 熊谷 常正 委員 今野 日出晴 委員 斉藤 利男 委員 菅原 伴耕 委員 藤田 俊雄 委員 山影 勝美	
欠席委員	委員 赤坂 憲雄 委員 兼平 賢治 委員 松本 武則	
川口印刷工業	真柄 隆男	県南営業所所長
	阿部 哲也	企画編集課課長
	藤村 晃子	企画編集課課長代理
事務局	小向 浩人	市民センター所長
	前川 さおり	市史編さん室次長
	糠森 千明	市史編さん室主任
	小島 芳枝	〃
	熊谷 航	〃
	菅原 聡	〃

（進行：前川次長）

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 出席者紹介
- 4 報告

（小島主任から資料にもとづき報告。各委員からそれぞれ担当分野の報告。）
質疑なし

- 5 協議（進行：大橋委員長）

(1) 平成30年度事業計画案について

（糠森主任 資料にもとづき説明）

- ・ 石器や土器などの考古資料を整理する際、共通の様式がほしい。

⇒ 博物館で使用している、文化財資料の調査カードがある。

- 中世史の資料になるような文献資料調査を盛岡と仙台で行いたい。今後の予定に入れてほしい。
 - 横田城の発掘に向けた表面調査を3月から4月の時期に行いたい。合わせて宮守の館跡調査もできれば。
 - 火渡館について、地形の高低差が分かるようなデータ作りができないか。
 - 土淵の経塚のようなものが他にもありそうなので、データ集積をしてほしい。
- ⇒ 調査については、具体的な日程を後日調整する。

- 町ごとの悉皆調査では、近代資料も含めて見てほしい。
学校資料も、近代の行政が見える資料が多くあるので、統廃合等で廃棄される前に調べてほしい。

- 通史の中で、芸術や美術、宗教は、どのように区分けして取り上げるか。
⇒ 独自に章立てすることも含め、今後の検討事項。

- 近代資料の調査で、旧町長、村長をやった家の蔵を探してみることが必要かもしれない。明治初期に市町村制が敷かれた際、大体は江戸末期の肝煎りが初代村長などになるので、それが誰だったかを調べれば、そこから広げていけるのではないか。

(2) 現代編について

(糠森主任 資料にもとづき説明)

- 普通だと調査した者が執筆するわけだが、今回のやり方はそこを分けているので、調整する難しさは出てくる。いろいろな人の目を通してバージョンアップしていくしかない。一方で、現代編だからこそ、一人の専門家より、たくさんの素人の目でやるほうが、いいものができるかもしれない。みんなの市史にできればいい。
- 9月予定の第1回目の読み合せ会で、執筆者と研究員がしっかり擦り合わせることが重要。できるだけ早い時期に行ってほしい。
- 商業ライターは、どんなことを言われても、仕事なのでクリアしようとするスタンスがある。そういう強味を生かして、いいものに仕上げたい。
- ライターの方々には、遠野を見て回って、盆地の風土を実感として味わってもらいたい。

- 実施体制にある各分野に詳しい方々は、老若男女を問わず、フレキシブルにたくさん
の意見をいただいたほうがよい。
- 10～11月の編さん委員会で、進捗状況を見ていただき、ご意見をいただきたい。
- 執筆要領案は、現代編だけでなく全部に共通するものか。
⇒ 今回は現代編の分。通史としては不足する部分もあるので、改めて作りたい。
- 現代編で決まったことが他の巻を拘束するような、表紙、装丁、デザインなどはど
うなるのか。
⇒ 表紙のデザインはその後の巻にも影響するので、編さん委員会に諮る議題にな
る。

6 閉会